



読字 藤原田 親

No. 648

2011/9/25

日中友好新聞

発行所

日本中国友好協会
〒110-0005 東京都千代田区千代田
西船場1-1-1 東武ビル3階

日中友好協会
岡山支部

〒710-8236
岡山市東区3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部

〒712-8911
倉敷市連島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:0860-446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rzhong.web.infoseek.co.jp>
メールアドレス
rzhong86@hotmail.co.jp



柳条湖事件

80周年の街頭宣伝

日中友好協会岡山支部

9月18日、10時半から11時40分まで、天満屋アリスの広場まで、8人が400枚のチラシをくばり、マイクで呼びかけました。

市民のみなさん、15年戦争を日本が始めた日です。憲法9条を生かし、平和な世界をつくらうではありませんか。

参加者は、稲葉理事、井上監査、宇野支部長、小林事務局長、竹内理事長、林市議、原監査、宮木記者でした。

東日本大震災募金が1005円集まりました。



東日本大震災

募金について

今まで5回にわたり本部へ募金を郵送でとじています。合計¥112,522円になります。

本部は、岩手、宮城、福島3県の協会組織へわたり、各県からの礼状が新聞に出ています。まだまだ支援をつづける必要があります。

ひきつづきご協力お願いいたします。

岡山支部 会計係

日中友好協会倉敷支部

会員10人が9・18街頭宣伝

9月18日、倉敷支部では倉敷駅頭に10人の会員が出て、9・18柳条湖事件80周年の宣伝行動を行いました。倉敷駅頭に10人の会員が出て宣伝行動したのは初めてです。又、手作りキーキを作ったそのキーキを添えてピラを配った会員もあり、ピラを受けとった人からたいへん感謝されました。

駅の乗降客にたいしてマイクで訴えらるとともに、柳条湖事件が発端となり中国全土に侵略を拡大し

2012年カレンダー「中国悠久の旅」

今年目標は540部

定価1200円 販売始まる

2012年度のカレンダーが、9月末日に到着します。今年もカレンダー販売の時期がやってきました。今年度は岡山支部で425部、倉敷支部で115部の目標を立てました。岡山県では、八年前の2003年に財政への寄与とともに、中国 残留孤児一訴訟支援の一環として販売活動が始まりました。この八年前は、多くの市民のみなさんのご協力で販売活動は順調にすすみました。

- 2003年・・・335部
- 2004年・・・460部
- 2005年・・・580部
- 2006年・・・700部
- 2007年・・・520部
- 2008年・・・600部
- 2009年・・・500部
- 2010年・・・535部

今年も販売活動が、財政への寄与

日本軍「慰安婦」の裁判

宋神道(ソン・シンド)さんは1922年忠清南道に生まれ、16歳から7年間も、日本軍とともに中国戦線をひ

及び中国に対する正しい理解を広げる助けになればと思っています。その上に、中国帰国者への新・新支援法の実現をめざして、6月に結成された中国帰国者の尊厳を回復する岡山の会への支援活動としても取り組みます。

9月末には、現物が到着します。左記の連絡先にお申し込みください。

つばりまわされる。

9月10日、県立図書館で、かの女をとった感動の映画「オレの心は負けていない」を見た。東京地裁から最高裁までの9年あまりのたたかいは、すべて被害事実、日本軍の関与を認めながら棄却、敗訴におわる。謝罪も賠償もしない、

こんな理不尽であるの！

国家無責任の理論がまだ通用している。犠牲になった女性には、朝鮮、中国をはじめ、フィリピン、インドネシア、ベトナム、ビルマ、オランダ・・・数(十)万人といわれる。文明開化は野蛮である。

竹内和夫



カレンダー購入の申し込み先

- ☆ 日中友好協会 岡山支部
電・FAX 086-272-3010 (竹内和夫)
電・FAX 086-277-2470 (小林軍治)
- ☆ 日中友好協会 倉敷支部
電・FAX 086-446-2711 (宮地義男)
- ☆ 総社日本語教室 事務局
電・FAX 0866-99-2650 (西森文子)



原発ゼロ集會に700人集まる

9月11日、岡山県総合福祉会館で、日中岡山支部も参加する実行委員会主催の「原発ゼロをめざす県民集會」が開かれました。

写真家、郡山総一郎さんの「フクシマ残された故郷は何を語るか」と題する講演と、日本科学者会議岡山支部による「エネルギーの転換をどう進めるの

か」に続き、福島県から総社市に移住してきている婦人からの報告は悲壮感がいっぱいでした。集會後、表町までパレードしました。400人を目標とした集會でしたが、700人も集まりました。

日中岡山支部 理事

河井伸士

私と「中国帰国者」研究

南 誠(梁雪江)

京都大学名誉研究員 国立民族学博物館外来研究員

③ 出合いの連続

今回の岡山調査で、青木康嘉先生と小林軍治先生には大変お世話になりました。

岡山県の満蒙開拓団と岡山市在住の中国帰国者を詳細に説明して頂き、とても参考になりました。また小林先生が、中国残留日本人孤児、高杉久治さん、高見英夫さん、大森諍宏さんを紹介してくれました。お三方から、約二時間にわたって、お話を聞かせてもらいました。岡山市在住の中国帰国者の状況を把握することができました。今回の予備調査の目的は達成されたのです。

しかし目的達成以上の喜びと驚きがありました。それが何か

という、高杉さんが中国で残留した「夫呉村」は、私の生まれ故郷「徐家村」のすぐ近くだったということでした。これだけではなく、高杉さんは私の祖父母をも知っているとしました。1979年頃、高杉さんが肉親探しの方法を知るために、祖父母を訪ねました。それが高杉さんの最初の肉親捜しだったようです。また竹内淑子さんも近くの「小張家村」に住んでいたことを知りました。私が小さい時から知っている中国残留日本人孤児、孫亮さんと親しく付き合っていたそうです。

人間のつながりは本当に不思議なものです。そしてそのつながりが運命の糸のように、人々を導き、互いを結んでいきます。こ

第10回

北京フォーラムに賛同して

日中友好協会岡山支部

11月26日から28日にわたり、北京の中国社会科学院近代史研究所で、日中韓3国の歴史学者達が集まり、この10年の総括を討議します。

2002年からつづけてきたフォーラムに、岡山支部理事会は賛同金を送り、會議成功のために協力することをきめました。

すでに『未来をひらく歴史、東アジア3国の近現代史』(2005年、2006年改訂版)が普及しています。

第7回中国問題文化講演会

「ありのままの中国の生活と文化」

日中友好協会倉敷支部

日中友好協会倉敷支部ではこのほど、第7回中国問題文化講演会として、「ありのままの中国の生活と文化」と題して、中国瀋陽市出身の金テン先生(水島齒科の医師)に講演していただくことになりました。

金テン先生は岡大歯学部を卒業後水島齒科診療所で働いておられ、日中友好協会倉敷支

部が今回の調査で感じたことです。岡山を訪れたのも、やはり運命の糸の導きがあったからでしょう。

岡山調査はまだ始まったばかりですが、私はすでに多くの収穫を得ました。今後さらに研鑽に励んでいきたいと思えます。

終

台湾旅行 ⑧

谷川浩文

その次に向かった一番楽しみになっていた龍虎塔では、巨大な虎の張り子の牙に自分の肩をあてがいがい、肩コリがなくなることを祈禱すれば希望が叶うと言われたが、どちらかと言うと私は腰をあてがいたかった。また、龍の口から入り、虎の口からでると善人になれるらしいが、素から善人の私はどうなのか？(笑)

夜は、自由行動なので、タクシーを使って六合二路夜市を散策することになった。夜市はとても活気があって私はとても気に入った。級友はガイ

を輸入したら儲かるね?」って言うたら、どうやらすぐに傷む果物らしいので輸入には向かないらしいことが判った。

あと、夜市のマッサージ店で3人はマッサージしてもらった。他の級友は足裏マッサージ、私は半身マッサージを頼んだが、首を思いっきり捻られ、ゴキッ!!!友だちの前でこんな恥ずかしい恰好を見られ、痛さより恥ずかしさで居たたまれなかった。でも、ちゃんと全身ではなく半身料金のみ請求されただけで、サービスタンだろなって変に納得。それ以後何か体が変わる感じがし、大丈夫か?と、思ったが、帰国して以来疲れ知らずの体質に変わったような気がした。



ドから聞いて知った釈迦頭という果物に興味を示し、買って皆でその場で食べてみた。釈迦の頭のような形からそう呼ばれるようになったらしい。とても表現しにくい、食べたことのない味でとても甘く、ジュシーであった。これ

次回の新聞発送作業は10月3日(月)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

吹林和
貝小竹内内
竹内口
竹谷坪